

2014 年 9 月 30 日

第 45 回「博報賞」受賞者決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 45 回「博報賞」の受賞者を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

今年度は団体 13 件、個人 3 件、合計 16 件の「博報賞」が選出されました。「博報賞」の贈呈式は、11 月 7 日(金)午後 4 時より、日本工業倶楽部(東京都千代田区)にて行われます。

■当事業の目的

当事業は、児童・生徒の「豊かな人間性育成」に尽力されている学校・団体・教育実践者の顕彰を通して、児童教育の現場を支援することを目的としています。

■賞の内容

「国語・日本語教育部門」「特別支援教育部門」「日本文化理解教育部門」「国際文化理解教育部門」「教育活性化部門」の 5 部門が贈呈対象であり、教育委員会、学識経験者など第三者から推薦された候補者の中から、審査委員会(委員長:新富康央 國學院大學 人間開発学部長)において審議決定されます。

受賞者には、賞状と副賞金(100 万円)が贈られます。また、受賞者の中から特に奨励に値するものとして「文部科学大臣奨励賞」が贈られます。

■今年度の受賞者

今年度は「国語・日本語教育部門」3 件、「特別支援教育部門」2 件、「日本文化理解教育部門」4 件、「国際文化理解教育部門」2 件、「教育活性化部門」5 件、合わせて 16 件に「博報賞」が贈呈されます。文部科学大臣奨励賞は 3 件に贈られます。各部門の受賞者は次ページをご覧ください。

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「国際日本研究フェロシップ」「世界のこども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会
博報賞担当
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

2014 年 9 月 30 日

第 45 回博報賞受賞者一覧

国語・日本語教育部門： 3 件

京都府	京都市立御所南小学校★	各教科で生きてはたらく読解力の向上を目指した新しい授業の展開
京都府	京都市立錦林小学校	学校図書館をメディアセンターとして活用した学習活動の充実
鹿児島県	船津啓治	主体的に読み、表現力を育成する国語教育の研究と実践

特別支援教育部門： 2 件

岐阜県	学校法人西濃学園 西濃学園中学校	豊かな学びの共同体を目指して～不登校からの出発～
福井県	荒木良子	在宅訪問教育対象児の豊かな生活の実現を目指す協働の取組み

日本文化理解教育部門： 4 件

兵庫県	赤穂市立城西小学校	演劇「子ども義士物語」の上演を通じた、未来に挑戦する子どもの育成
奈良県	天理市立樺本小学校	「埴輪」でつながるふるさと樺本・人と町
福岡県	久山町立山田小学校・久山町立久原小学校★	首羅山遺跡学習による地域を愛する心の育成
沖縄県	那覇青少年舞台プログラム	舞台活動による地域の歴史や平和学習の教育支援モデル

国際文化理解教育部門： 2 件

静岡県	浜松市立瑞穂小学校	外国人児童・保護者と共生できる社会をめざす支援体制の確立
京都府	京都市立小栗栖小学校	多文化共生教育を核とした人権教育の推進

教育活性化部門： 5 件

秋田県	釈迦内サンフラワープロジェクト 実行委員会★	地域ブランドのひまわりを活用したキャリア教育の実践
長野県	上田市立清明小学校	地域のひと・もの・ことに学ぶ「ふるさと学習」の実践
新潟県	長岡市立中野俣小学校	愛鳥活動を通して育てる、ふるさと長岡を愛する心
沖縄県	アンパルの自然を守る会	アンパルを自然環境教育の拠点として活用する事業
宮崎県	遠藤 晃	地域の自然を題材とした児童主体の課題解決学習の指導と実践

★印は博報賞にあわせて文部科学大臣奨励賞受賞